



三好市長 俵 徹太郎

新年あけましておめでとつございます。2008年のすがすがしい新春を、ご家族お揃いで迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

日頃は、市政各般にわたりまして、市民皆様には、格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

三好市が誕生して2度目の新年を迎えました。昨年を振り返りますと三好市のまちづくりの礎として「市民参画型の行政」を掲げ、「行財政改革」や「総合計画」などをはじめとする各種計画を策定する委員として、市民の方々にご参画いただきました。その結果、様々な分野からのご検討をいただき、これからの市のまちづくりの指針となる計画を策定することができました。また、昨年引き続きの移動市長室、第22回国民文化祭・とくしま2007をはじめとする催事、また本市の先人たちの功績を称えるとともに、往時のご活躍を偲び谷口董美・山下菊二兄弟作品展、富士正晴全国同人雑誌賞、葛文也記念事業、池田中学校ご卒業式、国の重要無形文化財人形浄



三好市民の皆様、新年あけましておめでとつございます。2008年の年頭に当たり、三好市議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

市民の皆様方には、明るく希望に満ちた新年を、ご家族おそろいでお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、市民の皆様には、市議会に対し、温かいご理解と、絶大なるご協力を賜り、心より厚くお礼を申し上げます。

さて、皆様ご承知のとおり、議会は日本国憲法にも規定されておりますように、市民に直接選挙で選ばれた議員をもって構成され、地方公共団体の最終意思決定機関であります。そして、その使命は、第一は、地方公共団体の具体的政策を最終的に決定することであり、第二は、議会が決定した政策を中心に行う執行機関の行財政の運営や、事務処理や、事業の実施が、すべて適法・適正に、しかも、公平・効率的に、そして、民主的になされているかどうかを批判し監視することでありま

瑠璃文楽の保持者・日本固有の古典芸能の継承者である吉田勘緑さんをお招きしての人形浄瑠璃公演など、市民皆様の参加をいただきながら、いずれも有意義に開催することが出来ました。

さて本年は、四国で初めての上水道事業が旧池田町で、県内初の水力発電が旧辻町で開始されて百年を迎えるという喜ばしい年です。この記念すべき年を三好市にとつて「実践の年」と位置づけ、総合計画をはじめとする各種基本計画に基づき、市民皆様とともに「活気あふれる三好市」となれるよう努力してまいりたいと考えておりますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

地方分権化社会が進む中、真に強い地方自治の構築を目指すためには、行政と市民皆様とが共通した認識を持ち、効率的・効果的な行政運営を行いながら、活力溢れる将来へ前進してまいりたいと思っております。また、このたび地方自治体の財政破綻を防止する財政健全化法が成立いたしました。この法律に基づき、実質赤字比率や第三セクターの負債も計算に入れ

す。このことから、地方自治は「二元代表制」であり、首長と議会は「車の両輪」の関係であります。

「三好市」も、町村が合併をして、今年3月には、早や3年目を迎えるわけでありまして、ちょうど折り返しの年でもあります。この2年間の市議会を振り返ってみますと、合併初年度は、旧町村それぞれの議会運営の違いからくる戸惑いや、理事者側においても組織機能が十分発揮されない場面も見られ、また、合併後の市政を取り巻く多くの話題・議題が山積する中で、議員も旧町村単位での選挙区制で選出された立場上、議論の多くが旧町村時代の政策に集中する状況でもありました。

しかし、2年目の昨年度は、党派結成などによる議員相互の信頼関係も生まれ、また、執行部においても組織体制の充実などで、徐々に新しい「三好市議会」の基礎固めが出来つつあり、このような重要な時期に、市議会議長としてここにたれたことは、大変光榮に存しているところであります。

三好市議会議長

中岡 幸敬

将来負担比率など新しく設定された4つの指標で、三好市の財政状況を試算してみますと、全て健全に保たれている状況であります。しかしながら、国が進める改革進行は止まることなく、今後も厳しいものに変わりありません。

このような中、平成15年に事業化されております、新猪鼻トンネルがいよいよ着工をむかえます。着工に到るまでには、関係各位並びに行政と市民が一体となつての活動が実を結んだものであります。この事業が完成いたしますと、異常気象時などの通行規制が無くなり、所要時間も大幅に短縮されるなど、人や物の新しい交流が生まれ、三好地域にとつて活性化のチャンスが広がると考えております。企業立地促進条例などを活用し、企業誘致を推進し新たな雇用場を創造するため、工場団地をはじめ、遊休地や既存施設などの利活用を推進してまいりますので、皆様のご支援、協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、観光につきましては、市内には、自然環境に恵まれた、全国でも有数の観光資源がございます。この全国に誇れる観光資源を最大限に活かし、観光産業を市のリーディング産業として成長させるためにも、観光施設の整備はもとより、時代のニーズ、充実したサービスの提供を行い、全国へ向けて情報発信を活発に行うとともに、広域観光行政にも積極的に取り組んでまいります。

「災害に強いまちづくり」のため、南海・東南海地震や台風などの自然災害へ対応する、自主防災隊の組織率向上に取り組んでまいります。本年も市民の皆様にご協力をお願いします。

三好市においても過疎化、少子高齢化などにより、人口の減少に伴う地域の衰退や産業の空洞化が進み、市の財政も極めて厳しい状況にある中で、現在、農林業の振興、観光産業の振興、行財政改革や市街地の活性化など、早急に対応しなければならぬ課題や、重要な問題を数多く抱えておりますが、今後は市民・行政一丸となつて、合併によるスケールメリットを生かし、四国中央部という地理的条件や、豊かな観光資源を活用して、活気のあるまちづくりを進めなければなりません。

そして、昨年12月議会で可決した三好市の将来像を描いた「三好市総合計画基本構想」、「基本計画」を基に、「自然が生き活き、人が輝く交流の郷 三好市」のまちづくりに向けて、市民と行政の協働による個性あるまちづくりを進め、希望を持って暮らしていける三好市を、次世代に引き継げるよう努力していくことが、私たちに課せられた使命であると考えております。

また、高度情報化時代の進展に伴い、合併後の、三好市の最重要優先課題であります「ケーブルテレビ整備事業」につきましても、旧山城町・西祖谷山村・東祖谷山村においては、今年4月

主防災の重要性をご理解いただき、災害が起きたときの被害を最小限にできるよう取り組んでまいります。また、災害時に非常に重要な情報提供につきましては、既存の防災無線等もとより、平成20年度内には市全域の情報通信基盤整備を行い、緊急時の音声告知サービス等もいたしてまいります。

近年、法改正により大きく変化する後期高齢者医療制度、介護保険制度、障害者支援などの福祉につきましては、関係各方面との連携をより密にしながら福祉サービスの充実に向けて、的確・迅速に対応いたします。また、未来を担う子供たちのため、安全・安心な教育環境づくりに努めますと共に、地域全体で子供を産み育てていくような地域環境づくりを推進してまいります。最後になりましたが、昨年、市職員による市民皆様の信頼をそこなう出来事がありました。このことは、一部の者のみにとらわれず、全ての職員が自ら公務員としての使命感を再認識し、全体の奉仕者として公共の利益のために全力をあげて職務に専念しなければなりません。現在、原因を分析検討すると共に、今後は、二度とこのような事が無いよう自らを律するために、職員一丸となつて取り組んでまいります。

迎えました平成20年は、市民皆様の福祉の向上と市政の飛躍を目指し、より効果的な行政運営を行い、活気あるまちづくりを目指してまいりますので、今後ともご支援ご協力よろしくお願い申し上げます。新春の門出にあたりまして、市民皆様のご多幸とご健康を祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

から本格的に放送が開始され、旧井川町・三野町におきましても、平成20年度中に事業が完成する予定であり、全市民が素早く情報を共有出来ることは、「市民参加のまちづくり」の観点からも、今後の「三好市」の発展に寄与するものとして、大いに期待されるところであります。

なお、議会の情報公開についてはありますが、旧池田町においては数年前から本会議の中継をケーブルテレビにより放映していましたが、合併して市議会になりましたからは、「本会議」は勿論のこと、地方議会では全国でもほとんど例のない「委員会審査状況」も放映を行っており、会議録のインターネット配信と合わせて、こと、議会の情報公開に関しては、全国に自慢が出来るものと確信しております。今後は、議会に対する市民の皆様幅広いご意見をお聞かせ願いたいと思っております。

私ども市議会といたしまして、時代を見据えた情勢分析に力点を置きながら、市民の皆様への求める効率率のよい行政を念頭に、市執行部と互いの知恵を出し合いながら、「市民参加」の市政運営に努力していく所存であります。

多難な財政状況と、依然として厳しい生活環境ではございますが、市民の皆様のご更なるご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。この1年が皆様方にとりまして輝かしい年でありますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



議会

行政



成人式 おめでとう



三好市内の410人が大人の仲間入り



新成人334人が出席

1月4日、三好市成人式が池田総合体育館において盛大に行われ、新たに410人が大人の仲間入りを果たしました。

今年の成人式の対象者は、昭和62年4月2日から昭和63年4月1日に生まれた方。対象者のうち334人が出席し、午後1時からの式典に臨みました。式典には新成人のほか、市および市教育委員会、市議会などの関係者が出席し、式典を見守りました。

君が代斉唱の後、俵三好市長が「与えられた権利と義務のもと、社会における役割を果たすと共に、これからの人生をしっかりと足取りで目標に向かって、大いに前進することを期待しております」と新成人を激励しました。また、千葉教育委員長からは「失敗を恐れず、困難から逃げず、志を持って自立自活し、果敢に挑戦する人生であって欲しい」と祝辞が述べられました。

その後、来賓として出席された県選出の国会議員や県議会議員などから祝辞が述べられ、市議会の中岡議長からは「本日を契機として、強健な心身を養い、自ら考え、自ら行動するたくましい人間に成長してください」と新成人に期待する祝辞が述べられました。

未来を担う二十歳の誓い

この後、祝電・メッセージの披露記念品贈呈をはさみ、新成人を代表して高畑航さん（井川）が新成人誓いのことばを述べました。新成人誓いのことばの中で高畑さんは、関係者や家族に感謝の言葉を述べるとともに、自分を見失うことなく、平和で豊かな二十一世紀を担っていくという決意をしっかりと誓っていました。

級友との再会に笑顔

今年の成人式でも、アトラクションとして、各中学校担任の先生によるビデオレターが上映され、スクリーンに恩師の顔が映るたびに、会場から「おー」と言うどよめきに似た歓声が沸き起こり、新成人の顔には笑顔がこぼれていました。式典終了後には、旧町村単位で記念撮影が行われ、成人の喜びを写真に残しました。

総合体育館周辺は同窓会ムード一色に染まり、級友との再会を喜び合ったり、肩を抱き合ったり、一緒に記念撮影をしたり、若さをいっぱい表現して、旧交を深め合っていました。



- ① 新成人誓いの言葉を述べる高畑航さん（井川）
- ② 記念品を受け取る阿佐公望さん（井川）
- ③ 受付事務も新成人が行いました。
- ④ 各中学校の先生がビデオレターで祝福
- ⑤ 新成人で埋まった池田総合体育館サブアリーナ